



HPVワクチン (子宮頸がんワクチン) 薬害名古屋訴訟



裁判傍聴のご案内

原告側専門家証人 反対尋問

静岡てんかん・神経医療センター

高橋 幸利

名誉院長

- ・ 専門：小児神経科学（免疫介在性神経疾患）
- ・ 原告らを含む多数の接種後患者の診療を担当
- ・ 接種後の患者らに髄液免疫学的検査を実施
- ・ その結果、中枢神経系関連症状を説明できる生物学的変化が生じていることを報告

2023年12月11日(月)

午前9時00分集合

名古屋地方裁判所前

正面玄関前歩道・西側角

名古屋市中区三の丸1-4-1
地下鉄名古屋城駅徒歩10分
地下鉄丸の内駅徒歩10分



HPVワクチン接種後に、頭痛・関節痛など身体中の激しい痛みをはじめ、痙攣や記憶障害等の様々な症状を発症する少女たちが現れるようになりました。

免疫介在性の神経障害であることを示す多数の研究成果があるのに、国や企業（GSK・MSD）は「心身の反応」であるとして、治療法の開発を進めようとせず、被害者や家族が置き去りにされています。

被害者らは、国と企業の責任を明らかにすることを求め、2016年に名古屋・東京・大阪・福岡の4つの地方裁判所で訴訟を提起しました。

原告は全国で100名以上にのぼります。

当日のスケジュール

- 午前9時00分 集合
- 午前9時00分 整理券配布開始
- 午前9時15分 整理券配布終了
・抽選 傍聴席へ
- 午前10時00分～ 証人尋問
- 尋問終了後 報告集会
(午後5時頃) @桜華会館
(約1時間)



HPVワクチン薬害訴訟名古屋弁護団
事務局 高岡・石塚法律事務所
TEL：052-212-8006
Web：http://hvp-yakugai.net/

【集合場所のご案内】

名古屋市中区三の丸1-4-1

☆地下鉄「名古屋城」駅5番出口から徒歩10分

☆地下鉄「丸の内」駅1番出口から徒歩10分

☆名古屋駅桜通口からタクシー約10分

